

あなたの声を町政に!!

ゆさわまち

議会だより

平成22年

第98号

7月18日
発行

アユ釣り解禁(魚野川)

- ② 町長行政報告
- ③～④ 一般会計補正予算
- ⑤～⑦ 常任委員会報告／
少子化対策特別委員会報告
- ⑧～⑨ 全員協議会／議会活動日誌
- ⑩ 議員表決
- ⑪～⑬ 一般質問
- ⑭ この人に会いました／編集後記



町長行政報告



湯沢町長 上村清隆

論 ウォーカー
やマンション
利用者等多く
の方々から利
用していただ
くことで、管
理組合法人の
「温もり」に
ふれ「感謝の
意を表する」

ものであります。

4月29日、中央公園足湯の開所式典を挙行いたしました。この足湯は、ヴィクトリアタワー湯沢管理組合法人から、源泉の湯を毎分10ℓ分湯していただけるという約束のなかで、屋外スポーツの殿堂である中央公園内に町が1992万円かけて整備したものであります。町道に面していることも

あり、公園の利用者は勿

全県下で「新潟県地方税徴収機構」が発足してから1年が経過いたしました。21年度3月末で本税・督促・延滞金を合わせて5578万1919円を徴収しました。今年度も引続き長期・高額滞納者の徴収に向け日々努力しています。

徴収嘱託員については、東京事務所及び町内でそ

れぞれ3名体制とし首都圏在住の滞納者や町内の滞納者の臨戸を強化しております。また、実態調査等にも力を入れ、不動産及び預金等の差押え処分を厳しく進め、納税の公平と税収の確保に努めてまいります。

子ども手当でございますが、支給対象となる子どもの数は、5月14日現在で967名となっております。湯沢町から支給される838名分については、6月11日に第1回の支払いを行う予定でございします。

最重要課題である小・中学校と保育園の統合整備につきまして、一般公募の町民の皆さまや小学校、中学校、保育園の各保護者の皆さまからも参加いただき、初回の文教施設整備委員会を、5月21日に公開で開催いたしました。

今後は、教育・保育・建設の各分科会を中心に、各々の課題を検討いただくこととなります。委員の皆さまには、お忙しい

中ご負担をおかけいたしますが、活発なご議論をいただきたいと思います。



中央公園が完成しました

一般会計補正予算第一号審査特別委員会報告

委員長
今村定一

結 果：賛成全員で可決されました

・歳入歳出それぞれ5,490万円を増加して総額を57億9,890万円とする。

歳入の主なもの

国庫支出金	木造住宅耐震改修支援事業180万円、住宅リフォーム支援事業450万円
県支出金	保育士等産休代替職員費補助金38万7千円、木造住宅耐震改修支援事業120万円、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業54万円
財産収入	町有地売払収入741万1千円増（田中バス停留所付近）、移転補償料244万2千円増
繰入金	公共事業基金繰入金（古野二地区集会施設建設費分）100万円増
繰越金	3,748万8千円増

歳出の主なもの

総務費

一般管理費：需用費 2万3千円増（平和都市宣言の懸垂幕2か所分）
 財産管理費：二居集会所改修費（1階部分）200万円、
 地域集会施設建設費補助金 1,900万円増（古野二集会所）
 企画振興費：米国独立記念日マグナ招請分旅費 109万4千円増、
 中学生海外派遣事業 388万4千円減（派遣生徒の応募減）、国際交流事業委託料 30万円増
 三俣地域振興対策費：街なみ要綱資料作成 65万円、道の駅事業認定申請策定 150万円
 参議院議員通常選挙費：投票用紙読取分類機購入 70万円増（開票作業の迅速化）

民生費

社会福祉総務費：民生委員 33万8千円増（災害時の要援護者避難用名簿作成のため実態調査並びに同意）調査
 社会福祉施設：健康増進施設 窓口業務委託 73万5千円
 児童福祉費：湯沢保育園費 保育士賃金 133万1千円（産休代替）
 駐車場消雪井戸ポンプ取替 143万9千円

衛生費

予防費：子宮頸がん予防接種 270万円増（中学2、3年生100人分）
 日本脳炎予防接種 65万3千円
 環境衛生費 城平霊苑給水設備改修 80万円（3か所）

土木費

道路維持費：町道苗場線用地買収 75万1千円
 一般住宅改修支援費：木造住宅耐震改修支援事業補助金 8軒分 520万円
 住宅リフォーム支援事業補助金100軒分 1,000万円

消防費

消防総務費：消防団無線名義変更 86万2千円（南魚沼市から湯沢町へ）
 消防団無線機器改修（9台分）28万4千円

教育費

事務局費：文教施設整備検討委員報酬増 23万円、議事録翻訳増46万2千円
 中学校管理費：田中バス停留所設計管理 35万7千円、田中バス停留所改築 323万4千円
 文化財保護費：修繕料（荒戸城跡看板）50万円増
 生涯スポーツ推進費：ジュニアスキー選手育成会活動費補助金 54万円
 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会補助金 15万円

平成22年度 一般会計補正予算審査特別委員会での

主 な 質 疑

- ㊦：実質収支約5億3千万円のうち未計上の残り4億3千万円の繰越金が出てくるが、基金の積立をするより景気浮揚策に有効活用を図るべきではないか。
- ㊦：約4億4千万円前後と予想より繰越金が多かった、必要とあれば予算に充当する。
文教施設の整備の中で総額38億円の他に中学校のプールを小中学生に併用して利用できるように改修するには1億円かかる。今後の計画のために基金を積み立てたい。
- ㊦：健康増進施設管理費の窓口業務は、今までどう取り扱っていたのか。
- ㊦：昨年度から窓口管理業務を町立湯沢病院に委託している。今回予算の計上漏れがあった。
- ㊦：住宅リフォーム補助金事業について、先の協議会では10万円の補助金では景気浮揚策にはならないとして、増額を求めたがどうなったのか。
- ㊦：他市町村同様、幅広くより多くの方に利用していただくため、補助金額を10万円とした。税の滞納者は対象外になる。
- ㊦：住宅リフォーム支援事業について、津南町が昨年からはじめた事業が大好評、4月1日からの受付を開始から申し込みが殺到し23日に事業費がいっぱいとなり105戸で締切った。その後も問い合わせが続いたそうである。湯沢町の場合は、業者や町民にどう宣伝をするのか。
- ㊦：業者を全員呼ぶのか、業界の代表の方を呼ぶのか、検討しているところである。7月1日の説明会の他、広報と町のホームページで知らせたい。
- ㊦：文教施設検討費の関連で、今統合に向けて進んでいる。スムーズに統合を図るために今の小学校の友達が一緒に、独立行政法人国立青少年教育振興機構が行っているこども夢基金の助成活動の夢の課外授業がある。野球選手などを講師に、著名人からボランティアで指導していただく事業である。この事業を積極的に活用する気はあるか。
- ㊦：夢の課外事業について、今後どの程度の持ち出しになるか調査した中で、今後推移の中で活用を考えていきたいと思う。当面は2か月に1回の校長会の4月の会に26年度4月開校までに、どこまでソフトランディングか、学習面スポーツ活動その他、交流事業をどの程度できるか、6月に具体的に協議してスムーズに移行するように努めたい。
- ㊦：民俗資料館の雪国館をバリアフリー工事した後に、指定管理するとの考えを委員会で示したが、いまだ予算化していない、今後の取り組み方は。
- ㊦：指定管理者制度に移行するには、バリアフリーは必要であろうとの話を内部で検討している。6月補正には残念ながら内容的に検討の余地があることから、予算化できなかった。
- ㊦：三俣道の駅の維持管理を含めた町内の状況はどうなっているのか。
- ㊦：三俣はここにきてやっと事業化になりつつある。とりあえず道の駅は今年度用地買収、実施設計を予定している。この維持管理を地域からお願いしたいと思っている。
- ㊦：ジュニアスキー選手育成活動費補助金54万円はどういう理由からか。
- ㊦：ジュニア育成の補助金は、町の単独費として今年が200万に減った。このため県の補助金申請した結果54万円いただくことになった。
- ㊦：マグナからの招待状の中身はどういうのか見せてもらいたい。いままでの枠から一歩踏みだして民間からの交流を進める考え方はないか。
- ㊦：昨年から今年のアメリカ独立記念日に湯沢町からパレードに参加してほしいと口頭で招待を数度ありその礼儀に応えるため、7月1日に教育長と総務課職員2名を考えている。今後の交流を議員、町民の色々な面で協力を得て一緒に行ってもらうことも考えていかねばならないと思っている。
- ㊦：町はいつ頃姉妹都市提携を考えているのか。
- ㊦：町民の気運が高まるまで、ホームステイの交流を続けると一般質問に対して答えている。私からはいつとは言えない。

総務文教常任委員会報告

委員長 南雲 正

開会中の委員会審査

平成22年6月8日

●議案第32号

○湯沢町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●審査の結果
「賛成全員で可決すべきものと決定」

国の少子化対策として、仕事と育児の両立支援を推進するため、国家公務員について、その配偶者が育児休業している場合でも育児休業、育児短期間勤務及び育児時間の承認を請求することができるものとする法改正を受け、地方公務員においても同様な措置を講じるための条例改正。

■主な質疑

○…町の業務体制は、この改正に対応できるのか。今までも男性が育児休業を取ることができたが、

取得実績はあったか。

▲…この条例の改正は法律の改正に伴うことから、申請があれば対応しなければならぬ。今までも男性の育児休業取得はない。

●議案第33号

○湯沢町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●審査の結果
「賛成全員で可決すべきものと決定」

育児休業等に関する条例の改正に付随する条例の改正であり、新たに配偶者の就業に係わらず、3歳に満たない子供を養育する職員には、原則として時間外勤務をさせてはならないという規定が設けられた。

●議案第34号

○湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

■審査の結果

「賛成多数で可決すべきものと決定」

平成21年度決算見込みで、5、300万円の繰越金が予定され予算計上額を3、300万円上回る。この一部を税の軽減分に充て、6月補正は行わない。国保会計の運営維持のため、医療費一般の税率を所得割りで0.4%上げ6%、均等割りを900円上げ25、200円、平等割りを600円上げ16、800円とし、支援一般では所得割を0.31%上げ18%、均等割りを600円上げ9、600円とする。介護一般では所得割を0.55%上げ18%、均等割りを2、400円上げ13、200円とする税率構成により一人当たりの負担額は99、997円となり前年より6、068円の増額となる。南魚沼市は11、458円、魚沼市は108、508円、十日町市は90、345円である。

■主な質疑

○…町民の生活実態を考えると、下水道料金の値上げ、ガス、電気等の値上げも想定され、生活環境は益々厳しくなり町の経済にも明るい兆しが見えてこない。国保税の負担増に町民が対応できるのか。

▲…町民の所得が落ちていくことに考慮して、繰越金を税軽減措置に充て、当初予算に近づけた。今後は医療費の3か月分を目標とする基金の確保が必要である。

●議案第35号

○湯沢町墓地条例の一部を改正する条例の制定について

●審査の結果
「賛成全員で可決すべきものと決定」

条例の改正から6年が経過し、運用上の問題が生じてきたので、条例の見直しを行い表記の修正や追加、条文の整理を行う改正。

●請願第6号

○30人以下学級の実現、

教育職員の人材確保、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願

■審査の結果

「賛成全員で採択すべきものと決定」

豊かで行き届いた教育を実現するため30人以下学級の実現、教育職員の人材確保のための給与改善、義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担割合を3分の1から2分の1にすることを求める意見書を国に提出することを求める新潟県教職員組合南魚沼支部からの請願。

●陳情第2号

○「年齢計算ニ関スル法律」の改正を求める意見書の提出についての陳情

●審査の結果
「賛成全員で採択すべきものと決定」

「年齢計算ニ関スル法律」は、明治35年に制定された「数え日方式」であり、最大誤差が約48時間に及び、4月1日生まれの子供の小学校入学が前年度生まれの子供達と二緒の入学になるなど、数々の不合理が発生して

国民生活に重大な支障を及ぼしている。この法律を改正して最大誤差約24時間の「越日数方式」とすることを国に求める湯沢町大字土樽南雲宗雄氏からの陳情。

議会中以外に行われた委員会報告

平成22年5月21日

1 平成22年度湯沢町生涯学習計画と文化振興について。

例年と同様、生涯学習の目標像は「人が育ち、地域を育むまち」目標は「自立する湯沢町民の育成」であり、「学ぶ」「活かす」「広げる」「支える」をテーマに各種事業を展開する。新たに総合型地域スポーツクラブ設立準備、雪国館のバリアフリー化と指定管理者制度導入に取り組み。童画のまちづくりの拠点施設、童画美術館の建設については担当部署だけでは対応が難しく、外部のコンサルを使い、人の動向や周囲の環境等をリサーチし、設置場所等を比較できる案を作らせ検討する

という説明があり、委員会からは「童画の拠点施設の建設は町長の選挙公約であり、担当部署が積極的に取り組まなければならない。いまさらコンサルの必要はない。15年間繰り返してきた区切りをつけるべきである」等の厳しい意見が出された。

他に「雪国館の指定管理者制度導入、スキー振興の嘱託指導員に地域の人材確保、町民がスキーを中心とするスポーツに取り組める環境整備、夏季学生合宿誘致のための早期の学校開放、総合型地域スポーツクラブ設立の取り組み、選挙と体育行事の問題」等多くの意見が出された。

2 町税の収入状況と課税状況について

出納整理期間を1ヶ月残し、4月末現在、町税の現年分徴収率は全体で95・2%、滞納分を含めて75・2%となり、前年度の徴収率を既に確保している。大きなウェイトを占める固定資産税現年分で94・7%と前年を0.1%上回っている。国保税も現

年分が90・1%となり、前年より2.3%落ちているが滞納分を含めると74・8%となり前年を1.7%上回っている。

滞納処分件数は前年より66件増えて、214件となったが、差押金額は前年と変わらない等の説明があり、委員会では「観光客の減少が続く、厳しい経済状況の中で徴収率が前年を上回る現象に対して税務課徴収班の努力を評価するとともに、その理由」等に対する質問があり、担当者からは「厳しい経済状況下ではあるが、公平平等の原則を踏まえ、納める人と納めない人の差があつてはいけないという観点から、納税者に極力接触し、お願いしている」ということであつた。

3 湯沢町総合計画の策定状況について

6月中に審議会では基本構想案を作り、7月末までに基本構想をまとめ議員協議会に示し、8月に基本構想パブリックコメントを行う。9月に議員協議会に図り、基本構想を議会に提出する。

基本構想承認後基本計画策定に入る予定であるという説明があつた。

4 国際交流の推進について

昨年より町長に対してマグナ側から訪問要請があり、併せて4月にはアメリカ独立記念日のパレードに湯沢からの訪問団用のパレード車を準備しているとの連絡があつた。7月1日から7月7日に教育長他2名をマグナアメリカ独立記念日訪問団として派遣する。

マグナからの受け入れについては、7月20日から7月23日にマグナ交流関係者4名が来町する。

マグナ側より、生徒派遣の募集が遅れ、応募者がなく今年度に限り生徒派遣を行わず、関係者の訪問となる。滞在時は町内団体等の協力により町民との交流を計画している。

今年のマグナへの派遣は、8月5日から8月18日、中学生7名、高校生1名、引率2名。昨年は応募後に新型インフルエンザの影響のた

め中止した経過を踏まえ、昨年募集していた中学3年生（現高校1年生）も対象に応募したという説明を受け、委員会では「国際関係において首長の役割は大きい、独立記念日の訪問要請に対して、なぜ町長は参加しないのか、国際信義に反することにならないか」等の質問があり、担当課長から「町長は全国観光地所在市町村協議会の総会で沖縄に行かなければならない」という答弁があつた。



アメリカ独立記念日マグナ100周年記念パレードでソルトレイク郡長クルーンと交流スタッフと一緒に記念撮影

厚生福祉常任委員会報告

委員長 佐藤守正

開会中の委員会審査

本議会の委員会付託案件はありませんでした。

議会で以外に行われた委員会報告

平成22年4月21日
○管内福祉施設の視察研修について

4月21日、湯沢町住民も利用している南魚沼市にある福祉施設の視察を行った。

健康福祉課の担当者から視察先を選定、課長の案内のもと7施設の視察を行った。視察先は以下の通りである。

- 1・特別養護老人ホーム・八色園（浦佐）
定員100名、その他ショートステイ、デイサービスも行う。
- 2・養護老人ホーム・魚沼荘（長森）
居室35室、定員70名

老朽化が激しいため近く改築予定。湯沢町の負担もあり。

- 3・地域活動支援センター・友の家（坂戸）
障害者の小規模作業所（NPO法人が運営）
- 4・身体障害者療養施設・マイトラ（欠の上）
定員60名 ショートステイ、デイサービスも実施
- 5・福祉サービス事業所・魚野の家（八幡）
精神障害者のための就労移行支援事業（定員12名）、就労継続支援事業（定員20名）などを行う。

- 6・グループホーム ひだまり・さかどホーム（坂戸）
開所準備中（5月から開所予定、定員7名の小施設、浅貝にあったグループホームを閉所しここに移したものの。
- 7・知的障害者更生施設・まきはたの里（滝谷）
定員50名。学童の日中一時支援を行う。



管内福祉施設の研修を行いました

産業建設常任委員会報告

委員長 田村計久

開会中の委員会審査

本議会の委員会付託案件はありませんでした。

議会で以外に行われた委員会報告

調査案件について継続とし、委員会は開催されませんでした。

少子化対策特別委員会報告

委員長 南雲和夫

文教施設整備委員会が発足されたことにより、委員は各委員会を傍聴することとし、委員会は開催されませんでした。

全員協議会

平成22年4月27日

湯沢環境審議会規則について

湯沢町環境基本条例第19条に基づき、審議会の組織、運営に関する規則を定め、委員10名以内で基本事項を審査する。総合計画の策定に向けた町民の意識調査を踏まえた中で環境基本計画がどうあるべきかを考えて、町民に分かりやすい、より環境の保護へと意識を高め推進につなげていく。環境審議会委員の構成は一般町民を主体とし、環境基本計画を推進する組織を5月に立ち上げ、年内をめどに計画案をまとめたい。進捗状況等について随時情報提供していきたい。

主な質疑

質疑なし。

木造住宅耐震改修支援事業補助金について

湯沢町住宅リフォーム支援

事業補助金について

6月補正予算に向けている、木造住宅耐震改修事業の補助対象は、費用の3分の1の額50万円を限度とするものと2分の1の15万円限度額の県補助金からなっている。

湯沢町住宅リフォーム支援事業は、一戸建ての住宅であること、住宅の修繕補修、改築増築、模様替え、設備改善のリフォーム工事で湯沢町内に営業所、事業所がある業者で工事費が20万円以上の本工事費が対象、100分の20の補助率で10万円を限度とする。対象件数は木造耐震改修事業を8軒、住宅リフォーム事業に50戸を予定。需要によっては増額したいと考え、3年間の予定で考えている。

主な質疑

Q…住宅改修リフォーム補助金の10万円の限度額は低すぎる。改修を住民の

住宅開発を誘発するための施策として、もう少し上げるよう見直し、検討できないか。

A…誘発することもあるが、10万円で行きたいと考えている。

Q…住宅リフォームの規模によつて補助額を段階別に定めるつもりはないか。

A…湯沢町の独自のカラーを出すことには賛成、検討してみる。

Q…住宅の改築或いは家族構成の減少から縮小改修は対象になるのか。また、既にリフォームを始めているところもある、この事業の対象は何時からか。

A…改築は対象、ただ単に規模を縮小する工事は対象になるか検討を要する。対象の時期は、補正予算が通つた後の要綱ができてからである。

Q…建設業者の景気浮揚対策として、20%補助の10万円の補助金限度額では、果たして効果出るのか。金額の再検討を求めたい。

A…再度検討したいと思

ます。

文教施設整備委員会委員について

湯沢町文教施設整備委員会名簿はようやく先週に名簿がそろいました。35名は3つの分科会に分かれて所属する予定である。第1回が5月21日午後開催し、委員の委嘱をする予定です。一般公募は、3月の広報に各分科会2名ずつ募集した結果、教育分科会では4名、内部の検討会で書類選考した。他の2つの分科会は定員で収まった。又、会議は公開されるので傍聴希望者を広報で知らせたい。

主な質疑

Q…町民の中にはその他、意見欄を見たいという人がいる。欲しい方にどうして配ることができないのか。

A…内部で検討してなるべく公表するようにする。

Q…5月21日の開催時には、傍聴者に配慮して各分科会をずらして開催するこ

とはできないか。会が公開されるのは委員は承知されているのか。

A…21日は最初ですから全体会の後に3分科会を同時開催する。次回は分科会が中心になるのでなるべく重ならないようにしたい。一般公募者の募集要綱に公開をうたっているし、公開をご存じないことも含め開催までに知らせたい。傍聴…なし。

平成22年6月14日 三俣道の駅構想について

平成14年清津川ダム実施計画調査の中止以後、地域振興対策が何も進まない、説明もないとの声が聞こえていた。三俣未来まちづくり協議会とは毎月、4者協議会を得て今日見える段階になりつつある。今年度に国、県、町の共通事項である道の駅の実施設設計と用地買収、県は苗場山の登山道を下の芝2.7km整備、町は町並み空間形成修景基準の補助金交付要綱の作成を予定、国は清津川護岸整備事業の検討

調整中である。

主な質疑

Q：不在地主から地域の合意があつたか問われ調べた結果、出席者の9割の賛成があつたとのことだが何割の出席者だったのか。また、道の駅の管理運営を地域から組織ができる見通しがあるのか。地域からの要望ではないような気がするが、これまでの経緯を訊きたい。

A：現在地域に住んでいる89世帯のうち、町内で道の駅計画に賛否を問う紙面調査をした結果、常会の出席63世帯、賛成56、反対6、白紙1であった。施設運営の組織化について協議会を通じなげかけている。今年度中に結論が出なければ指定管理者を公募する。この計画の要望は、地域要望75項目のうち48項目の1つと認識している。

Q：施設内の簡易な飲食部分の管理運営はどうするのか。エスポ川は綺麗な

水であり、川として利用する方法はないか。また、施設に観光協会が入るとの話はどうなったか。

A：飲食の施設は町で整備して指定管理者から簡易なメニューで運営していただく。エスポ川を利用することは3mの高低差があり不可能である。また、地域に観光の発信拠点として場所を提供したいと協議会に話している。

Q：計画地の用地買収に反対者はいるのか。

A：反対はないが説明を要する者がいる。

議会活動日誌

◆3月

9日／23日／第1回定例会（会期15日間）

13日／上越魚沼地域振興快速道路開通式

23日／第2回議員全員協議会

24日／小学校卒業式

30日／南魚沼地域土地開発公社理事會（南魚沼市）

◆4月

5日／第5回議会広報常任委員会

6日／湯沢中学校入学式

6日／小学校入学式

8日／JR東日本との意見交換会

12日／第6回議会広報常任委員会

19日／第7回議会広報常任委員会

21日／厚生福祉常任委員会管内福祉施設視察

27日／第2回臨時会
条例案件等3件
補正予算2件

27日／第3回議員全員協議会

◆5月

16日／春季消防演習

（湯沢・神立・土樽）

18・19日／全国議長・副議長研修会
（東京）

21日／第3回総務文教常任委員会

21日／湯沢町精神障がい者家族会

定期総会

23日／春季消防演習（三保・三国）

25日／上越新幹線活性化同盟会総会

（新潟）

25日／新三国トンネル期成同盟会
監査

27日／新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会

28日／議会広報研修会（新潟）

28日／上越魚沼地域振興快速道路整備促進連絡協議会総会
（十日町）

（十日町）

31日／南魚沼地域土地開発公社理事會（南魚沼市）

◆6月

4日／第4回議会運営委員会

4日／第8回議会広報常任委員会

■ 議員表決結果報告 22年4月臨時議会・6月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません。

提出者	議案名	採決結果	宮田眞理子	南雲正	南雲和夫	今村定一	田村正幸	田村計久	森下昌次	佐藤守正	柿崎直治	半澤利貞	師田保
町 長 提 出 定 例 会	湯沢町総合計画審議会補欠委員の委嘱について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成21年度一般会計補正予算（第9号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成21年度下水道特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	湯沢町総合計画審議会補欠委員の委嘱について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町平和都市宣言について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託その2に関する協定の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢第一簡水小坂電気計装設備新設工事に係る請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	湯沢町墓地条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度一般会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願等	30人以下学級の実現、教育職員の人材確保、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「年齢計算ニ関スル法律」の改正を求める意見書の提出についての陳情	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会提出	30人以下学級の実現、教育職員の人材確保、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「年齢計算ニ関スル法律」の改正を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



佐藤 守正

新築校舎の小中別棟と 国民健康保険の資格者証について

一、新築校舎は同一敷地内であっても小中別棟で

質問

子どもが減るので統合をというのは理解する。しかしなぜ一体型の小中一貫なのか理由を説明してほしい。

教育長答弁

小中学生が同居する中で児童生徒がより身近に関わり、豊かな人間性や社会性を身につけたり、教職員も9年間の系統的継続的指導ができ、知徳体の向上を図るには一体型校舎による一貫教育が望ましい。

質問

小学校の持つ文化と中学校の文化は大きく異なり、特に小学校文化は中学校文化に同化されゆがめられる

ことがないよう、大事にされなければならない。

保育所を出たばかりの小学校1年生と、青年前期という精神的に激動する時期に当たる中学生を同居させることに問題はないのか。

教育長答弁

小中一貫も中高一貫も、深く連携していくという点では同じだ。中高一貫が多く成果を上げており、遠距離であっても中高貫校に通わせたいと思う保護者は多い。

私立学校に人気があるのは、幼稚園から大学まで一貫の方針で教育しているからで、公立学校の場合、連携という理想は掲げるがそれがなかなか実現しない。そういう中で湯沢町が一步前へ踏み出したのは、絶交のチャンスを作ったと言える。

質問

アンケートの自由記述には、小中一体の校舎で9年間連続することへの不安が溢れている。この不安をこのまま放置しておいて強行することは問題である。

教育長答弁

第二回文教施設整備委員会の全体会では異論は出なかった。また反対が多ければ教育委員会や私へ意見や苦情が届くはずなのに、それはない。むしろ湯沢の厳しい教育環境の解決を先延ばしすることが、逆に禍根を残すことになると思う。

質問

町が各地で開いた説明会は、事前にその内容の重要性を知らされていなかった。ために参加者は少なかつた。しかし今はちがう。だれもが町役場の方針を知り、自分の意見を持つようになっ

ている。その意見や不安を聞いて丁寧に回答する会を持つ必要があるのではないか。

教育長答弁

広報、ホームページなどで情報を告知し、最終的には委員会の報告書を公表するので、改めて説明会を開くつもりはない。

二、国民健康保険の資格者証より短期保険証を

質問

湯沢町は国保税の滞納者の割合が多いだけでなく、滞納者に発行される資格者証の割合が県下で一番多い。発行する前に対象者と面接しているのか。

健康福祉課長

審査会で個々の事情を検討して決定している。審査の対象になる方へは事前に連絡を出し、相談等があれば税務課に来てもらうという対応をしている。

質問

昨年度、資格者証を受けている人で医療機関を受診した人は何人あったか。その受診率はいかほどか。保険証

をもっている他の住民の受診率と比べてどうか。

町長答弁

資格者証の人は現在81名いる。昨年度の受診件数は17件だったので、受診率は20.9%である(年に一人0.2回の受診)。国保の一般会員の受診率は、20年度の実績で、被保険者3,068人が受診した回数24,281件だったので79.1%(年に約8回の受診)となる。

質問

資格者証の人はほとんど医者にかからずに我慢しているのではないか。資格者証をもつた人は、行政からますます遠ざけられたと思うだけで、それで税の収納が進むというのではない。短期の保険証を発行して、その更新の度に面接をして納税相談をやる方が実質的に税も集まるし、保険証が無くて医者に掛かれないという町民もいなくなる。湯沢町もこういう方法をとるべきである。

町長答弁

その方が町民の皆さんから喜んで頂けるかなと思うので、検討したい。



宮田 真理子

水道検針員募集と成人式開催日程 副町長不在について問う

水道検針員募集について

質問

3月14日発行の広報湯沢で、水道検針員の募集がされました。募集することになった経緯と、申込期限は守られたか、どのような審査を行ったかをお伺いします。

16日に、ある町民が応募したところ、「大きな声ではいえないけど、もう決まっている。」という答えが返ってきたそうです。

町長答弁

検針員の中に多くの件数を受け持っている方がおり、もし万が一検針員に事故が

あった場合メーカーの位置等を把握していなくては、短期間中での検針業務を終了できずに料金業務に支障をきたす恐れがあるので追加募集をした。期限までに3人の申し込みがあり、書類等で総合的に判断し、1名にお願いをしたと聞いている。

上下水道課長説明

電話をしてきた人が16日に決まったと言われたそうだが、うちでは3月23日まで受け付けをしているという事です。

成人式開催日程について

質問

湯沢町の成人式は、雪国であることや、繁忙期であるという理由からか、前倒

しの8月に行われております。学齢式で、実際には未成年の新人が多く占める事になります。未成年の飲酒の危険も考えられるでしょう。

今年は、すでに広報で、実行委員も募集され、準備も進んでいることと思えます。次の年の成人式は、未成年のいない成人式にしていくべきではないでしょうか。ちなみに、南魚沼市では、5月の連休に、開催しております。

教育長答弁

県下においても、その実状から開催日はマチマチである。8月17地区5月は18地区1・3・7月は7地区である。19・20歳が混在する地区13地区。20・21歳が混在する地区29地区となっている。

他にになにか考えがありがたいをおきかせください。

町長答弁

副町長の担当していた仕事は、私と教育長、各課長方に分担しているのが現状である。財政面を考え、不在で良いという意見もあるが、大事な部署であるから、時間をかけ検討し、人選をしたい。

質問

マニフェストの中に「公務調査室（仮称）の新設で速やかな政策の実行を図る」とあり、これをお考えかと思っていた。副町長や秘書的な人を置く政務企画室をつくられては如何か。

町長答弁

もつとつとこんだ調査ができる部署があればという思いでマニフェストにのせたが、学校の問題に真剣にとりくみたいという思いで課を一つ新設させて頂いた。その他、自分ひとりではどうしようもないところもあるので早めに人選をし、皆さんにお諮りしたい。

副町長不在について

質問

佐久間前副町長が、任期満了で退職なさって、副町長不在の状態が、続いているが、不便を感じていないか。また、今後どなたかを任命する予定が有るのか、

一般

質

問



南 雲 正

観光客が、駅から町なかへ足を伸ばすビジネスをJRに求め地域の活性化を。

質問

湯沢を訪れる観光客数は30年前に、人口も40年前のペースに戻り、観光客の減少に歯止めがかからない中、新しい観光施設として展開された湯沢駅の駅中開発は、駅利用者だけではなく湯沢を訪れた観光客の拠点となり、まさに「駅栄えて、地域減る」という現象も出始めている。駅中開発の展開が地域との共存共栄であるならば、観光客が駅から町なかへ足を伸ばす二次交通を含めたシステムの展開をJRに求め、実施させることが必要である。

既に、旅館組合では電動アシスト自転車を導入して、着地型観光への社会実験を行

ているが、この事業の大規模な展開は、多額の経費を要し、地域の団体等の独自の対応には限界がある。この事業をJRにビジネスとしてやってもらうことによって観光客が自然の風を受けて湯沢を楽しむことを、新たな観光メニューとして提供でき、駅から人外に出るシステムが構築され、地域の活性化に繋がることとなる。この電動アシスト自転車導入ビジネスをJRに求め、湯沢の活性化を図る提案に対する見解を伺う。

町長答弁

JRでは、地域と一緒に知恵を絞る「共創」を基本として、本社に地域活性化グループを設け、何度も湯沢に足を運び、地元の人々の意見を聞き、湯沢のために、このプロジェクトを推進している。私自身も東口の皆さんからいろいろな意見を聞いてきたので、町民の皆さんのストレス

はなくなつたと思う。機動力のある電動自転車導入ビジネスを、今後JRに提案して行く。

選挙公約、施政方針における農業振興に対する支援策は。

質問

地域活性化事業補助金等の募集が行われたが、いずれも観光事業推進のための支援策であり、農業振興に対する町独自の支援策が見えてこない。選挙公約や施政方針実現のために、地消地産を担う農業等に対する町独自の振興策はどのようなことに取り込むのか伺いたい。

町長答弁

湯沢産コシヒカリの新米キャンペーンも、今年5年目を迎え、昨年は、地消地産推進会議を立ち上げた。生産者は大手ホテルから大量な注

文を貰い、嬉しい悲鳴を上げている。地域活性化補助金は見直しを課長に指示している。

定年退職者の再任用制度活用による再雇用の理由は。

質問

行政組織のスリム化方針を受け、定年前に多くの幹部職員が早期退職し、組織の活性化のため、後進に道を譲った。人員削減が急激に進み、退職者の活用を安易に考えているようであるが、この制度の活用は、新しい人材が育ち、組織に活性化が生まれる弊害になる。職員の政策能力育成のために投じた5年間の研修費は何だったのか。新卒者の3人に1人が職に就けない社会状況を踏まえ、町が率先して新しい人材を求めることが、町の人口増にも繋がることとなる。なぜ、この時期に条例制定後、初めて定年退職者に対する再任用制度が活用されるのか。

町長答弁

職員数が152人まで減少し、業務の多様化が進み

大変になっている。定年退職者の再任用は、三俣地域振興対策推進のため、今までの経験を生かし、蓄積したノウハウを後進に継承し指導してもらうために1年単位で再雇用した。行政を停滞させないため、緊急避難的に必要なのである。

夏季合宿誘致のため陸上競技場の公認取得を

質問

冬季スキー産業が低迷する中、夏場の学生合宿に活路を求める民宿経営者にとって、陸上関係合宿は施設が効率的に使われ人気がある。陸上合宿誘致の地域間競争における決め手は公認グラウンドで合宿の仕上げと、記録会ができることである。

夏季合宿誘致のため、早急に陸上競技場公認取得に取り組む必要があると思うが見解を伺いたい。

町長答弁

趣旨は理解できるが、第3種公認は全天候型の補修工事が必要になり、多額の経費がかかり現状では難しい。現状を踏まえて第4種公認を検討したい。

一般

質

問



半澤利貞

一般

質問

質問

大源太湖周辺の駐車場と トイレの整備について問う

質問

東洋のマッターホルンと言われる大源太湖の周辺は、全国の景観ランキングでも上位に入り、観光バスが多くお客様を連れて来てくれている。しかし、道路状況が悪く進入が難しい。更にトイレが旧式でお客様が利用しにくい。「大源太山荘」さんのトイレを借用している現状は、観光地として恥ずかしい。

駐車場が無いため県道から歩きであり、トイレも旧式（男女共用）で失望する。旭原振興センターの敷地や農業用溜池の利用で駐車場の造成は可能と思われる。高速道路脇の三角地（中子・松川線）の土を運んで溜め池を埋めれば両方に駐車スペースが確保され、高

速協は、見通しもよくなるし、コスモスマラソンの駐車場としても使える。両方良いのは、頼りかむりと言う。更に中小業者にも作業が可能である。重要な観光スポットであり速やかな対応が望まれる。

町長答弁

トイレについては、階段を昇る男女兼用の旧式であり、バリアフリーのトイレにするように関係課に示唆している。進入路と駐車場に付いては、前向きに取り組みたい。



大源太湖トイレを改修せよ



旭原地内用水池



柿崎 直治

選挙公約における新しい町づくり構想をどのように進めているのか

質問

町長は昨年二期目の選挙において元気でたくましい町、暖かくやさしい町づくりをマニフェストとして公約、当選された。しかし、依然として町の基幹産業である観光産業は低迷を続けている。そうした中で公約として町長が掲げた元気でたくましい町づくりをどのように進めているのか、町民は町長のリーダーシップに期待しているところであります。二期目に当選されてから間もなく半年になろうとしている現在、マニフェストの中の主だった下の施策についてそれをどのように進めているのか、伺います。

- ① 新たな町づくりのための行政機構の再構築
- ② 個性ある観光産業の育成
- ③ 特色のある福祉、医療の充実
- ④ 夢のある教育、子育ての環境整備
- ⑤ 人口を増やす遊休地の有効活用
- ⑥ 地域の力を活かした町づくりの推進

町長答弁

①については、町の重要課題である保育園及び小中学校統合を推進するために文教施設整備課を新設するとともに、企画財政班の職員を一名増やし、緊急課題に対応してゆきます。また、今後様々な分野で町民の皆さんと町づくりを考えてゆくため、町民参加条例の制定を検討

討しています。

②については、新規事業として第一回越後湯沢ユニバーサルウォークの開催、町食グルメグランプリの開催、温泉通り電柱埋設の推進など関連団体の皆さんと協働して幅広く事業を展開しているところであります。

③については、当町も高齢化が進み5月現在で29.8%となっていて高齢者の健康づくりが重要な課題となっております。今後も高齢者の健康維持対策に力を入れてゆくつもりです。また、今年は湯沢病院に常勤の整形外科医を迎えることができ、地域の皆様方に喜んでいただいているものと思っています。

④については、更に充実し

た子育て支援を行ってゆくために文教施設整備委員会では保育園統合等に関する基本計画の策定を進めているところであります。小学校の統合につきましては文教施設整備構想を取りまとめ、保護者の皆様と地域の皆様に説明を行い、この構想の実現に向かっての決意を新たにしましたところであります。

⑤につきましては、人口を増やすためには働く場所の確保が第一です。そのため今年度企業誘致優遇措置要綱を作成し、企業誘致推進の基盤整備を行っているところであります。

⑥につきましては、現在地域の皆様为主体となつて開催している色々なイベントがあります。町としてはそれらの活動に対し更なる支援を行ってゆきたいと思っています。

湯沢町観光協会について

質問

申すまでもなく湯沢町の基幹産業は観光産業であり

ます。現在観光産業に携わっている民間の方々が近隣の市町村と連携を持ち雪国観光整備事業計画を策定、観光産業振興と地域経済活性化のために頑張っていることをご存じと思います。そうした中で観光立町湯沢町における湯沢町観光協会の果たす役割とその位置づけは今後ますます重要なものになってくると考えます。そこで以前から議論されてきた協会組織の法人化に対して町の考え及び支援策等について伺います。

町長答弁

観光協会が自立をし、着地型の旅行商品の販売や様々な観光に関する独自の事業を展開し、リスクを負いながら自らの判断で資本を投下し収益に直結する積極的な事業展開をすることは非常に重要なことだと考えております。町としても観光協会が大きな潮流に乗り遅れることなく名実共に体制が整備され、皆さんの期待に応えられるように、出来る限りの支援をしてゆく考えております。

この人 に 会いました

湯沢病院 歯科医師

笠原 浩介 さん



プロフィールと自己紹介

昭和62年6月より、湯沢町国保診療所の時代から湯沢でお世話になっております。新潟市出身、51歳、B型、亥です。家族は姫が3人（女房、高校3年生と中学2年の娘）。気分転換に休日は、音楽を聞きながら料理を作ったりしています。鶏肉の唐揚げが姫たちに好評のようです。

子供の健診で感じたこと

保健センターでの乳児健診、保育所健診、中学校健

診に携わって23年になります。昭和63年の3歳児健診では、16・9%に虫歯が減り、一人平均0・75本の虫歯の数になっています。これは、フッ素塗布やフッ素洗口、保健センターの皆さんの啓蒙活動の賜物と思われま

地域住民に伝えたいこと

湯沢には、豊かな自然と四季折々の営みが残っています。とりわけ春の山菜、秋のきのこ、コシヒカリとさらに魚野川のアユやイワナと美味しい食材があふれています。さらに旨い日本

酒もあります。家族とあるいは気の合う友人と旬の料理で一杯飲みつつ語り合う。そのような時間を楽しむためにも歯はとても大切です。そのためには歯ブラシにもう少し関心を持っていただきたいのです。

口の中の病気は、歯垢が原因です。皆さんの口の中を見ると合格点をとれる歯ブラシをしている人は残念ながら少ないです。歯ブラシにかけられる時間が短いこと、正しい歯ブラシの仕方

方を知らないためではないかと思っています。

歯科医院で歯ブラシ指導を受ける機会があるとありますが、真剣に（笑）、積極的に質問して指導を受けて下さい。歯垢は歯の垢と書きます。

口の中の垢は、体の垢をとるより時間と技術を要します。体同様歯の健康にも関心を持ち、健康で楽しい日々をお過ごしくださいと願っております。

★インタビューを終えて

プライベートでは、動物好きで、家族のためにお料理の腕をふるう、心優しいお父さんという印象の笠原先生でした。今後ともますます地域住民のために活躍いただきたいと思っています。広報常任委員会 柿崎直治 宮田眞理子



治療中の笠原先生

編集 後記

絆

「きずな」

全国を興奮の渦に巻き込んだサッカーワールドカップ。相次ぐ大相撲の不祥事。十日町から世界で活躍中のクロカンスキー野上選手の夢途上、27歳での急逝等、様々な課題がスポーツ界から飛び込んでくる。六日町高校が甲子園の感動を伝えたあの日から15年。今年も夏の甲子園へ向けた熱い戦いが始まった。六日町高校のチースで5番、南雲亮太君（原が甲子園という大きな夢に向かって最後の夏を迎えた。他に町の少年野球出身の角谷雅史君（平沢、1年間俊君（中子）がベンチ入りする。少年野球の熱心な指導者、理解ある家族の協力支援、地域の応援がひとつの絆となって、子供達の夢を叶える支えとなる。湯沢で育った子供達が、私達に元気と明るく爽やかな感動を届けてくれることを願い、応援しようではありませんか。

広報委員 南雲 正

広報委員会

委員長 柿崎直治
副委員長 森下昌次

南雲和夫・南雲 正・
田村正幸・宮田眞理子

編集

湯沢町議会

広報常任委員会